

## 事業概要



## 事業概要

介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）をはじめ関連した市町村事業は転倒予防・運動機能向上（口腔機能向上を含め）などの機能訓練によって体力向上を目指していくということが主たる目的となり、その結果が虚弱高齢者の自立生活には繋がりにくいことが浮き彫りになってきた。たとえ障害があっても地域社会の一員として、住み慣れたところで安心して生活し続けられるように支援することが重要であり、その可能性を担保する場・機会が不可欠であり、まさに地域社会における「仲間づくり」や地域での支え合い（「地域づくり」）といった地域リハビリテーションの理念に基づいたリハ専門職による支援が肝要となる。

「各都道府県において医療機関（特に回復期リハ病棟など）や施設・介護保険事業所などに勤務するリハ専門職が積極的に市町村事業に関与できるような仕組み（体制）づくりが求められる。

### 具体的な課題

- 地域リハビリテーションの視点を持ち、多職種と協働できるリハ専門職の育成
- 関連する都道府県・市町村行政スタッフの地域リハビリテーション活動の重要性に関する啓発
- 勤務する医療機関や施設・介護保険事業所から育成されたリハ専門職が市町村事業に派遣されるシステムの構築

### 本事業における主目的

- 行政勤務リハ専門職の市町村事業への関わりについて現状の実態を明らかにする
- 市町村事業に寄与できる有用なるリハ専門職育成のための教育カリキュラムの作成・提案する
- 市町村関連部署行政スタッフのリハ専門職に対する認識・ニーズ（期待）の実態を明らかにし、リハ専門職派遣体制構築に向けての提言を行う

### 調査内容

- 市町村介護予防強化推進事業を実施している13市町村の行政職及びリハ専門職へのヒアリング
- 行政勤務リハ専門職の実態および行政スタッフのリハ専門職への認識に関するアンケートを市町村・都道府県に対して実施
- 日本リハビリテーション病院・施設協会会員に対して市町村事業へのリハ専門職派遣に関するアンケートを実施

### 人材育成への取組み

地域リハビリテーションの理念を理解し、市町村事業に効果的に関わることでできるリハ専門職を育成するためのカリキュラムを作成し、試行的に実施

